

今年度も学術事業では研修会や講習会などの開催を多数計画いたします。また府民、市民の皆様へ向けた活動として「検査と健康展」や「子宮頸がん啓発活動」などを積極的に行ってまいります。「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」を本年度まで継続して開催する予定ですが、まだ受講されていない方は積極的に受講をお願いします。「精度管理事業」では今年度も京都府医師会と連携を取り、これからの時代に合った実施内容も検討し京都府内での臨床検査の精度向上を目指します。また青年部会も立ち上げ若い技師を中心とした企画も考えており、若い方々も参加しやすい技師会活動を目指します。毎年2月23日は「京都医学検査学会」の日と定めており、こちら若くは若い技師たちを中心とした学会運営と発表の場にしていきます。

今年度は「第64回日臨技近畿支部医学検査学会」を京都府主催で国立京都国際会館にて行います。会員の皆様におかれましては積極的に参加いただき、ぜひ一般演題などにも発表頂ければと思います。医療DXの推進や将来的に労働人口の減少が予想されていますが、技師会としても各種事業の中でも色々と考え、共に協力しながら今後の医療や臨床検査技師の役割を皆で考えていきたいと思ひます。

1. 衛生思想事業

1-1京都府医療推進協議会主催イベント

昨年度もイベントは開催されませんでした。再開されれば社会公益活動の一環として協力してまいります。

1-2子宮頸がん啓発活動LOVE49

子宮頸がんに関する啓発や検診の受診率アップなどは京都府民の疾病予防に大切なことと考えており、啓発活動を今年度も継続します。

1-3全国検査と健康展京都会場（日臨技公益委託事業）

臨床検査と臨床検査技師のことを広く知ってもらい、健康診断の関心を高め健康増進につなげてもらうことを目的として開催します。一人でも多くの方に参加いただけるように創意工夫を凝らした企画をします。

1-4府・市民公開講座

臨床検査技師の知名度向上や府民・市民に臨床検査の理解を深めていただくため、継続的に開催したいと思ひます。地域社会の人々の健康の保持および増進を図り、疾病を予防するための企画を行います。

2. 精度管理事業

2-1精度管理事業

京都府医師会と合同で精度管理調査を実施し、京都府内の医療機関、衛生検査所の臨床検査の実情を把握し、標準化を進めつつ、教育問題なども活用してレベルアップを図ります。また、調査項目、申し込みコース、参加費について検討を行い、地域の技師会の特色としてきめ細やかな対応を目指します。昨年度の様々な課題を解消し、多くの施設が参加しやすく意義深い精度管理調査となるよう、担当理事と各研究班精度管理担当者が協力し、京都府医師会とも協調して開催します。

2-2合同報告会

精度管理調査事業を今年度も引き続き京都府医師会と合同で実施し、報告会についても共同で開催します。京都府下の参加施設にとって意味のある精度管理調査となるよう、検査精度の現状把握、標準化推進の補助、検査レベル向上を目指し、各研究班合同での報告会を企画・開催します。

2-3京都府・京都市 京都衛生検査所精度管理専門家会議

京都衛生検査所精度管理専門家会議に出席、衛生検査所への立入検査に同行し、精度管理向上に協力します。

3. 研究講習事業

3-1 学術研究班

臨床検査の知識・技術の向上を支援するための事業計画を作成いたしました。昨年度に引き続き、実技講習会をはじめとする各種研究班による企画を進めております。開催形式は、現地開催とWebを併用したハイブリッド形式が多くなってはおりますが、現地のみ、またはWebのみでの企画もございます。計画的かつ効果的な事業を展開してまいりますので、ご都合にあわせてぜひご参加ください。

A. 【生理検査研究班】

今年度も現地参加とWeb参加を併用したハイブリッド形式で、より多くの会員が参加できる研修会を開催いたします。また、実技講習会や他研究班、他臨技とコラボレーションした研修会なども積極的に開催し、会員の皆様に充実した学術情報を提供できるよう努めます。

研修会	8回
講演会	1回
実技講習会	1回
会場	京都保健衛生専門学校など
連絡先	多田 淳史（京都工場保健会）

B. 【輸血検査研究班】

安全で適正な輸血療法を行うために必要な輸血検査の基礎知識から最新の知見や動向を取り入れた内容を企画します。輸血検査に関しては、近年、全自動輸血検査装置の普及により用手法（試験管法）での機会が減少しつつあります。しかし、機器の故障や予期せぬ反応に遭遇した場合は用手法で実施することになります。今年度は実技講習会の開催を予定します。京都府下の技師の輸血検査向上に貢献できるよう研究班一同で研修会を開催します。

研修会	2回
実技講習会	2回
会場	京都保健衛生専門学校など
連絡先	相田 幸雄（京都第二赤十字病院）

C. 【臨床化学・血清検査研究班】

前期は臨床化学免疫血清に携わって間もない技師を対象に、臨床化学や免疫学の基礎など、気軽に参加できる研修会を企画します。後期は慢性疾患や複合疾患に焦点を当て、疾患と検査についてより専門的な知識を学べる機会にしたいと考えています。夏開催のサマー研修会、冬開催の実技研修会（みやこ研修会）については、現状では十分な準備が整えられないため、次年度開催を目標に班員一同で頑張ります。

研修会	4回
会場	京都保健衛生専門学校など
連絡先	和田 香織（京都岡本記念病院）

D. 【血液検査研究班】

血液検査研究班では血液学検査や凝固・線溶検査、血液疾患について基礎から最新情報まで幅広く学ぶことができる講演会を開催いたします。講演会では講師・参加者全員で活発なディスカッションが行える症例検討を引き続き実施いたします。また、形態学を現地で実際に目にするのできる実技講習会（動画を用いた研修会、顕微鏡実技講習会など）を開催いたします。

講演会	2回
実技講習会	1回
会場	京都保健衛生専門学校、キャンパスプラザ京都など
連絡先	小森 法子（京都医療センター）

E. 【病理・細胞検査研究班】

感染対策を十分に行い、会場参加型のみの企画とせず、ハイブリッド型やWeb研修を積極的に取り入れ、病理・細胞検査に必要な知識や技術の習得、向上を目指し、研修会・講演会・実技講習会を企画します。病理・細胞検査の横断的な内容やマネジメントを含めた総合的な能力の習得、他府県やメーカーとも協力し、ゲノム医療関連を含む先進的な内容、新しい情報・知識・技術も取り入れられるような企画を考えます。後進の育成に役立つ内容や企画を考え、開催曜日や会場を厳選し、できるだけ多くの方が参加しやすいよう考慮し、活発な活動を行います。

研修会	2回
講演会	2回
実技講習会	1回

会場：京都保健衛生専門学校、京都大学医学部、綾部市立病院など

連絡先：竹腰 友博（京都市立病院）

F. 【一般検査研究班】

基礎的なことから応用まで学べるような基礎研修会の開催を企画します。京臨技精度管理調査にて理解いただけていないと思われる内容も含め、参加者の知識・技術の向上に役立つような研修会にしていきたいと思えます。また、昨年度の出来なかった髄液検査についての研修会も実施いたします。

研修会	6回
-----	----

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：藤内 千歳（京都第二赤十字病院）

G. 【微生物検査研究班】

AMR（薬剤耐性）やAS（抗菌薬適正使用支援）に対応できるよう最新の情報を発信できる研修会や、感染症診断・治療に役立つ企画、医療関連感染対策、感染対策地域連携に貢献できる幅広い知識を得られるような学術活動を目指します。京都府下から認定微生物検査技師をより多く輩出できるよう実践に即した研修内容にし、知識と技術を確実に習得できる研修会や実技講習会を行います。

研修会	2回
講演会	2回
実技講習会	1回

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：山田 幸司（京都府立医科大学附属病院）

H. 【情報システム研究班】

現代の臨床検査業務は、検査の技術だけではなく、検査の依頼を受けて検査結果を返すまでの一連の流れを実現するために必須となる情報システムの維持管理も重要な位置を占めるようになってきています。臨床検査の重要性が高まり、大量のデータを効率的に扱うことについても、情報システムの担う役割は大きいものとなっています。情報システム研究班では、情報をシステムを利用してさらに効率的な業務を遂行できるようになるための研修会を開催する予定です。また、研修会の情報や、臨床検査に関する最新の知見をお知らせするメールマガジンを、引き続き配信してまいります。

講演会	1回
-----	----

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：増田 健太（京都大学医学部附属病院）

I. 【遺伝子検査研究班】

昨年度は研修会・講習会および病理研究班と合同実技講習会を開催し、がん遺伝子検査の情報提供を行いました。今年度は分野横断的に遺伝子検査の基礎知識向上と最新の技術などの情報を発信し、京都府の遺伝子検査技術の向上を目指します。また、今年度は京都で日臨技近畿支部医学検査学会も開催されることもあり、学会を通じて遺伝子検査の知識向上に尽力します。

講演会	1回
-----	----

実技講習会	1回
-------	----

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：岩根 文男（京都岡本記念病院）

J. 【北部検査研究班】

研修会は2回、WEBで行います。開催時間を例年19時としてきましたが、試験的に20時～開催と致します。なるべく専門研究班と被らない題目でと検討していきたいのですが、被る場合は専門研究班の班長と相談しながら実施致します。今年度は近畿学会が11月22-23日と、毎年北部学会を行っている時期と被るため、北部学術発表会は実施せず北部講演会として考えております。また他の研究班と合同の講演会が行えたらと考えております。

研修会 2回

講演会 2回

会場：舞鶴赤十字病院東館講堂、西駅交流センター、交流プラザふくちやまなど

連絡先：園田 真之（丹後中央病院）

K. 【南部研究班】

会場での開催も行いつつWebでの研修会も開催し、現地参加が難しい方にも積極的に参加頂ける研修会を企画致します。様々な検査分野における基礎的な知識の習得および最新の話題や興味ある内容を提供致します。会場開催では特に京都府南部の施設に勤務されている方の情報共有の場になるような活動を開催致します。

研修会 2回

実技講習会 1回

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：馬場 昭好（田辺中央病院）

L. 【チーム医療研究班】

医療人としての総合力を高め、チーム医療の中で信頼される臨床検査技師を目指します。今年度は、タスクシフト・タスクシェアの推進を見据え、多岐にわたる分野への対応力を養う研修会を企画します。また、検査データから病態を読み解く力を養うR-CPCも引き続き実施し、臨床現場での判断力向上を図ります。チーム医療の一員としての役割を自覚し、臨床検査技師としての専門性を発揮できるよう、知識と技術の向上を目指します。

研修会 3回

講演会 1回

実技講習会 1回

会場：京都保健衛生専門学校など

連絡先：山田 雅（京都市立病院）

4. 広報事業

4-1会誌

会誌 2025. Vol. 52 「令和7年度総会号」（令和7年8月1日発行予定）

4-2会報（ニュースレター）

年3回発行を予定しています。

メルマガやホームページとの連携および新たに開設した京臨技インスタグラムを活用し、技師会の活動状況を発信していきます。

4-3ホームページ

京臨技主催の研修会情報や関連団体の行事に関する最新情報を迅速に掲載します。また、デジタル会員証システムが現地参加の際に役立てるよう広報を行います。

会員からの問い合わせについては「お問い合わせフォーム」を設置して利便性を高め、担当理事から迅速に回答します。また、よくある問い合わせについてすぐに分かるような仕組みの検討を行います。

また本年は第64回近畿医学検査学会の開催地である為、こちらの情報も随時掲載していきます。

4-4メールマガジン

発行数が1150号を超えたメールマガジンについて、引き続きほぼ毎週発行します。

5. 会員向け啓発事業

5-1 定時総会

会員が出席しやすいように、電磁的投票・Web参加を可とし、定款第13条の規定に従い今年度も定時社員総会を開催します。

5-2 新入・転入会員研修会

日臨技・京臨技の組織と運営の説明、また各研究班の紹介を主にして企画・開催します。新入・転入の会員だけでなく、多くの参加者の情報交換および交流の場になる研修会を目指します。

5-3 京臨技北部学術発表会

今年度は第64回近畿支部医学検査学会と日程が重なるため、開催致しません。

5-4 施設連絡責任者会議

技師会の活動報告とその時々の医療情報を話題に取り上げ、施設連絡責任者の方々と情報交換ができる貴重な機会となるよう企画・開催します。

5-5 京都病院学会

京都府内の医療を支える活動の一環であり、ニーズに合わせたテーマ演題なども企画されています。他部門の業務を理解できる貴重な事業と位置付け、今年度も京臨技として参加・協力していきます。

5-6 都道府県ニューリーダー育成研修会・初級職能開発講習会

本事業は技師会や職場などで活躍できる、次世代を担うリーダーの育成をテーマに企画されています。今後の社会情勢や臨床で活躍するためには、医療情勢や臨床検査技師の未来像、組織目標達成に向けた考え方や、現状分析、課題解決力、人材育成やコミュニケーション力を学ぶことが重要となります。これらの能力開発と人材確保を目的として、日臨技と歩調を合わせて開催を検討します。

5-7 第6回京都医学検査学会

毎年2月23日に開催している京都発の学会は、今回で第6回目を迎えます。

本学会は、研究発表や育成企画および情報交換を通じて、京都府下の臨床検査技師の発展に寄与することを目的としております。また、これから学術活動を始めようと考えている会員の方や臨床検査技師を目指す学生の皆様の一助となるよう企画しております。今後の学術活動の足掛かりとしてぜひご活用ください。皆様の多数の発表とご参加を心よりお待ちしております。

5-8 タスクシフト実技研修会

京都市内会場で3ヶ月毎に4回と2月末に北部地域会場で1回の合計5回開催予定です。

5-9 青年部

今年度は年4回程度の活動を予定しており、若手技師の育成や他施設との交流を深め、技師会活動の活性化につながるような活動を目指します。皆さんに興味を持っていただけるような今までにない新たな研修会や親睦会の企画立案をします。

6. 共催・後援・協賛・協力事業

共催・後援・協賛・協力事業を会員利益となるよう積極的に取り組みます。

7. 総務事業

会の組織力を強化するために会員数の増加を目指します。そのために各事業部や研究班と連携を取り、京臨技運営が円滑に進むようにします。会計処理については、法人の公益性を追求、公益目的支出計画に準じた会計処理を行い、外部税理士法人による確認を行い適切な処理をいたします。